

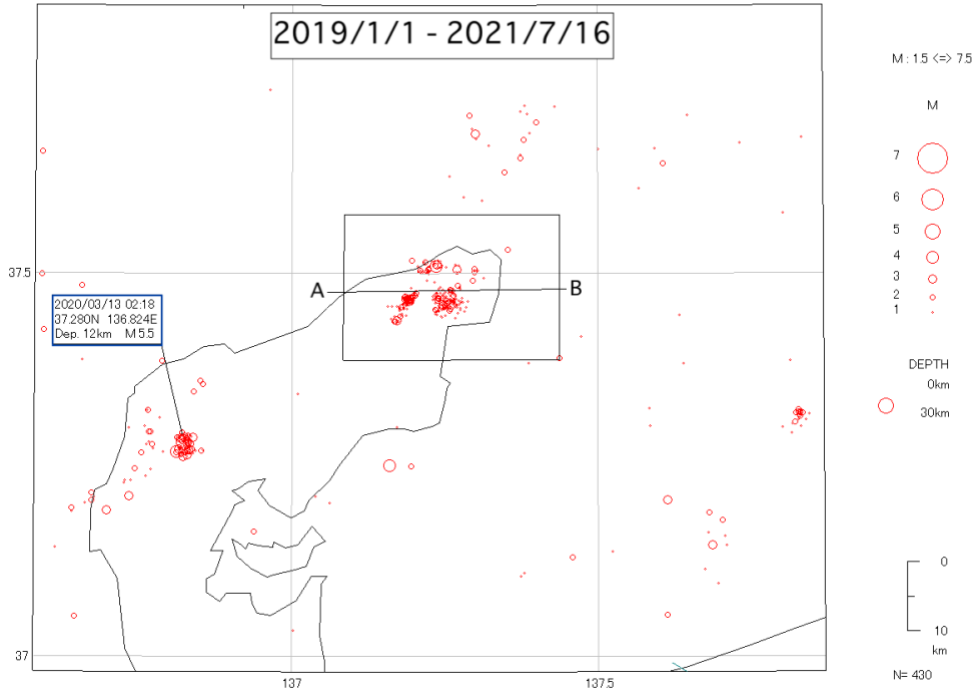


能登半島でややまとまった地震活動

気象庁は、平均して一日あたり600個程度の地震を日本列島およびその周辺で観測しています。もちろんそのほとんどは体に感じない小さな地震ですが、今年になってから、能登半島先端近傍でかなり地震活動が活発化しています。

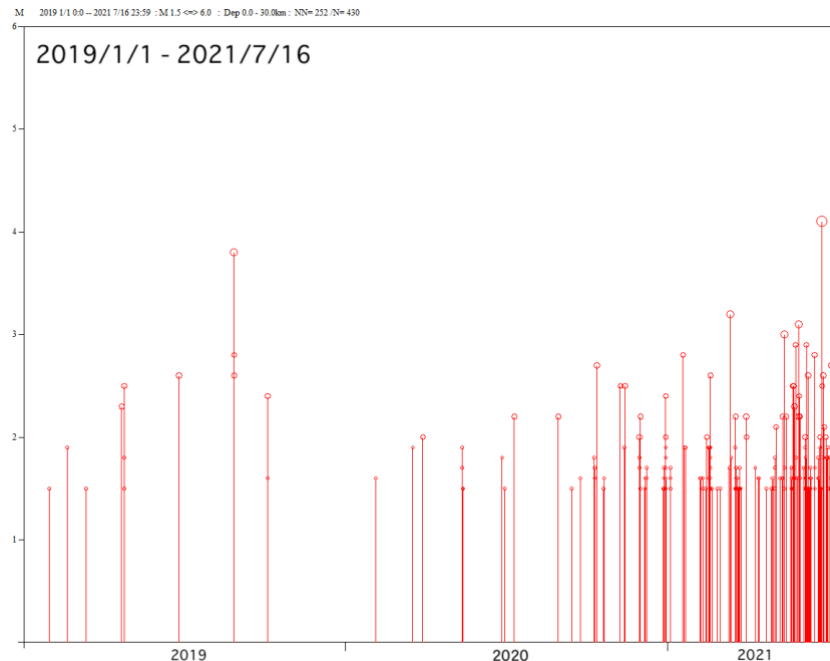
能登半島およびその周辺では、1993年2月に能登半島沖地震(M=6.6)、2007年3月には能登半島地震(M=6.9)と活断層タイプの被害地震が発生しています。

能登半島先端地域では、歴史時代を含めてマグニチュード6.5を超える地震は発生しておらず、将来的には、能登半島の先端地域を埋めるように内陸被害地震が発生する可能性が存在します。



2019年1月から今年7月16日までのマグニチュード1.5以上の地震の分布

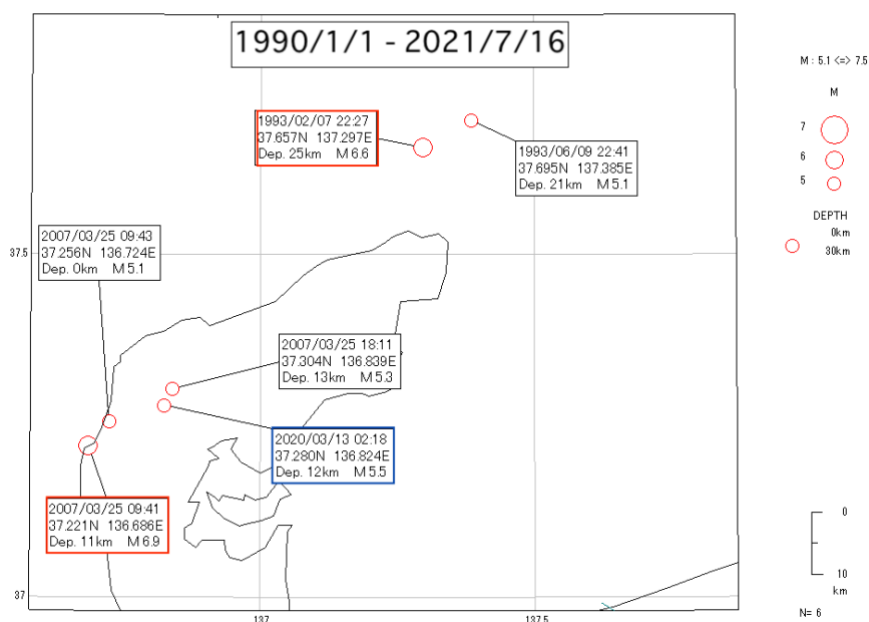
次の図は上の図中の小さな四角の中で地震がどのような時系列で発生したかを図示した図です。





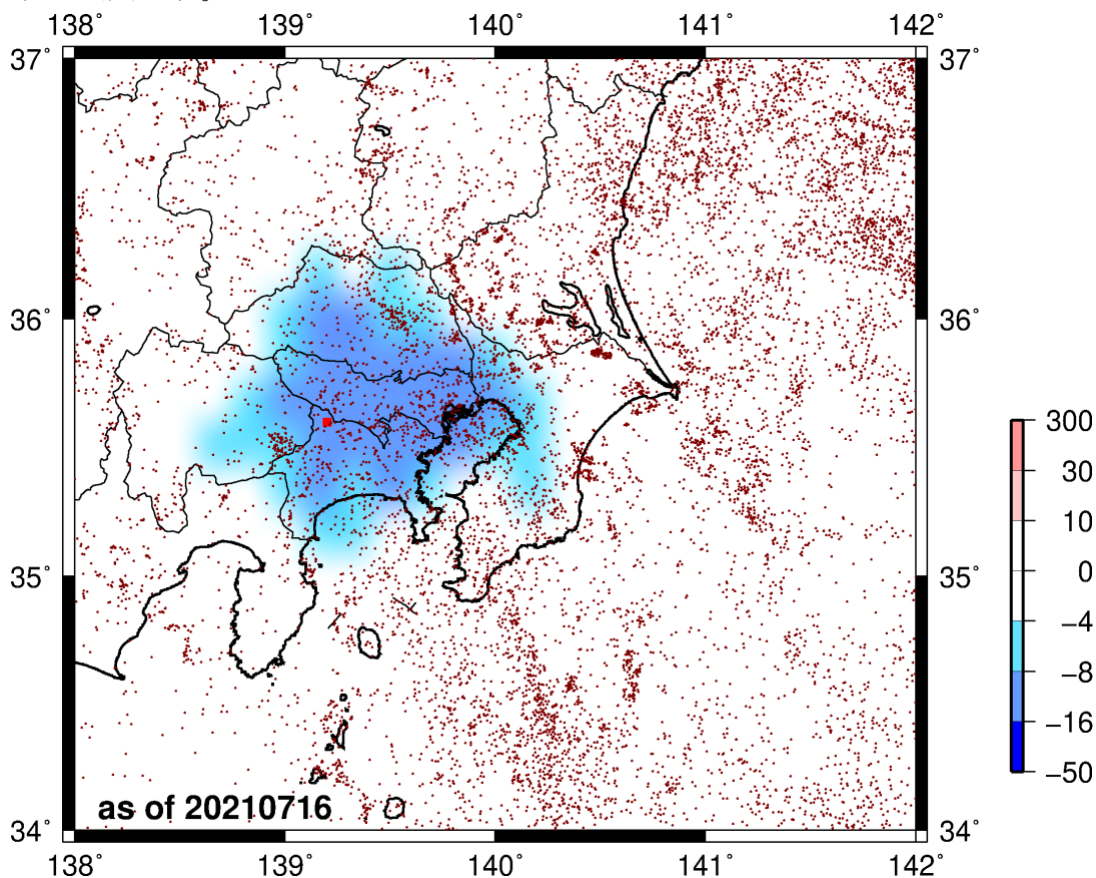
2021年になってから、非常に多くの地震が発生している事がわかります。

次の図は1990年以降のマグニチュード5.1以上の地震の分布図です。赤枠で囲った地震が1993年の能登半島沖地震と2007年の能登半島地震です。能登半島先端は、歴史的にも地震の空白域となっている事がわかっています。



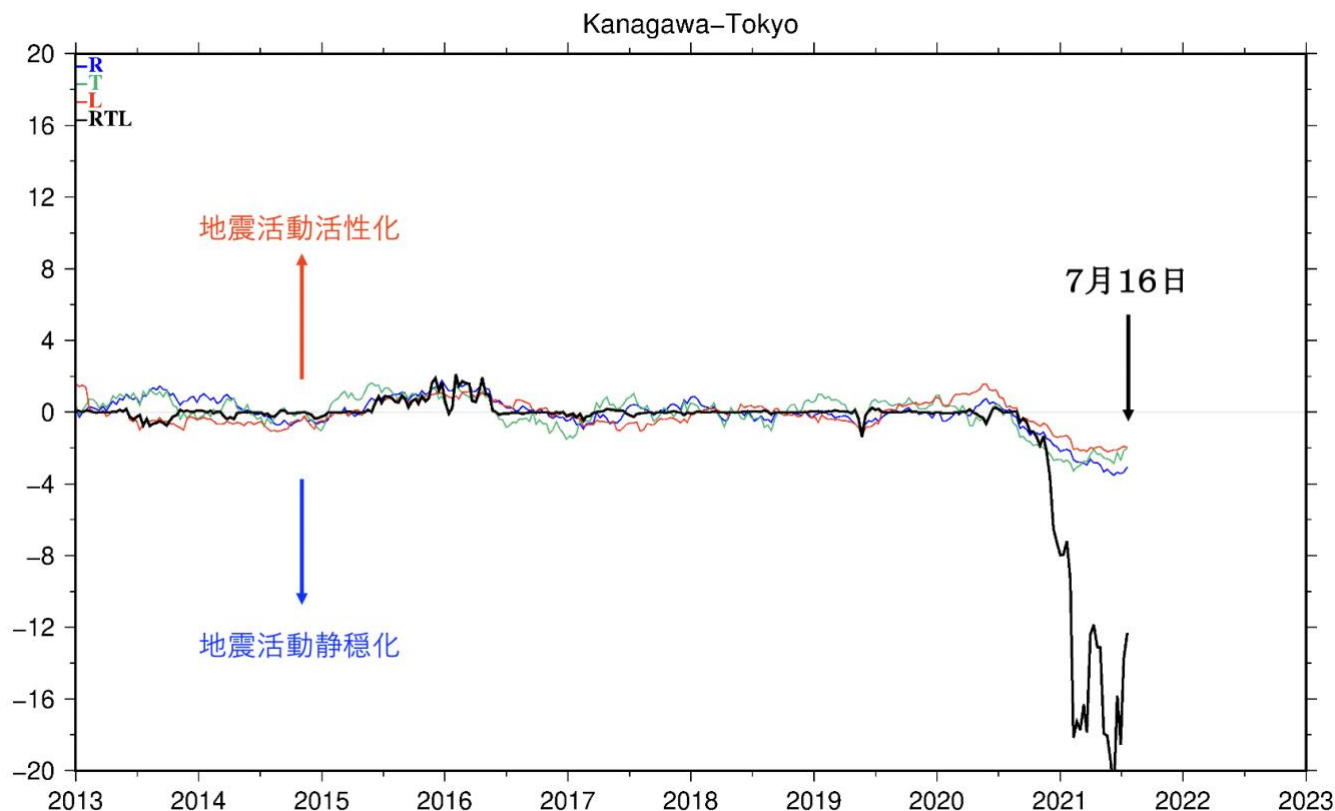
首都圏の地下天気図®

6月14日のニュースレターに続き、首都圏に特化した地下天気図解析です。今週は7月16日時点のLタイプ地下天気図です。





6月の段階からほとんど変化はありません。次にお示しするのが、図中の■の地点(神奈川—東京境界付近)の地下天気図時間変化曲線です。静穏化が消長を繰り返しながら、まだ継続している事がわかります。





DuMA ダッシュボード

7月19日時点のダッシュボードです。今回から九州南方海域の異常が加わりました。

更新日

2021.7.19

地下天気図® 解析	地域	警戒度 (異常の確度)	現状	静穏化・活発化期間		予測有効期間	備考
				いつ頃から	いつ頃まで		
静穏化異常 ほぼ解消	北海道北部からサ ハリンにかけて (A)	High	静穏化解消	2018年5月	2021年3月	2022年3月まで	サハリン北部では1995年に ネフチェゴルスク地震 (M7.6) が発生し、2000名近 くの死者が出た事がある。 積丹半島近傍でも静穏化が 確認できる 静穏化異常は5月になりか なり解消と判断する
静穏化異常 継続中	襟裳岬周辺 青森沖を含むエリ ア 北海道西部および 北海道西方沖にも 注意 (I)	Medium	まだ異常の面積は小さい がLタイプ、Mタイプの両 方で静穏化出現 11月6日、7日に青森 沖でM5クラスが連続 12月21日もM6.5が 発生している(2020年最 大の地震であった)	2019年3月	静穏化は北 海道西方で はまだ残っ ているよう であるが、 襟裳岬周辺 は解消した と推測でき る		この地域は基本的には2003 年の十勝沖地震で大きなエネ ルギーは解放されたと考えら れているが、1968年の十勝 沖地震の再来の可能性もある 昨年12月21日のM6.5の地震 でかなり歪が開放された可能 性あり <u>2種類の解析で静穏化の解 消パターンが異なっており、 まだ静穏化は解消していない と判断している</u> 北海道西部から西方沖に静 穏化領域が広がっている可能 性 があり、2つの異常と考え るべきかもしれない
静穏化異常 継続中	相模湾・神奈川県 を中心とした地域 (M)	High	日本列島陸域と首都圏の2 つの異なったパラメータ による地下天気図解析で 異常継続中	2020年9月	継続中		異常の中心は神奈川県・相模 湾であるが、実際には東京や 静岡県東部も含む広い地域に 異常出現中。規模はM6クラ スか？埼玉県も可能性あり 異常は消長を繰り返してい る模様
静穏化異常 継続中	室戸岬を中心とし た四国地域 (N)	Low	陸域の解析と気象庁全体 のデータを用いた2つの 解析で静穏化が出現	2020年10月	継続中		20年間の長期間のデータを用 いた解析では異常がほぼみ とめられず、東日本大震災後 のデータを用いると複数のパ ラメータで異常が検出される という不確実性があるため、 警戒度はLowとした
静穏化異常 出現	大阪周辺地域 (P)	Medium	2021年5月頃からLタイ プおよびMタイプで静穏 化異常が出現した模様	2021年5月	継続中		まだ異常の形が不安定な ため、現時点での精度は あまり高くないと推察さ れる
静穏化異常 出現	九州南方海域 (Q)	Medium	2021年6月にLタイプおよ びMタイプで静穏化異常 が出現	2021年6月	継続中		異常が確認できてまだ短期間 であるが、異常の面積が大き い事に注目している